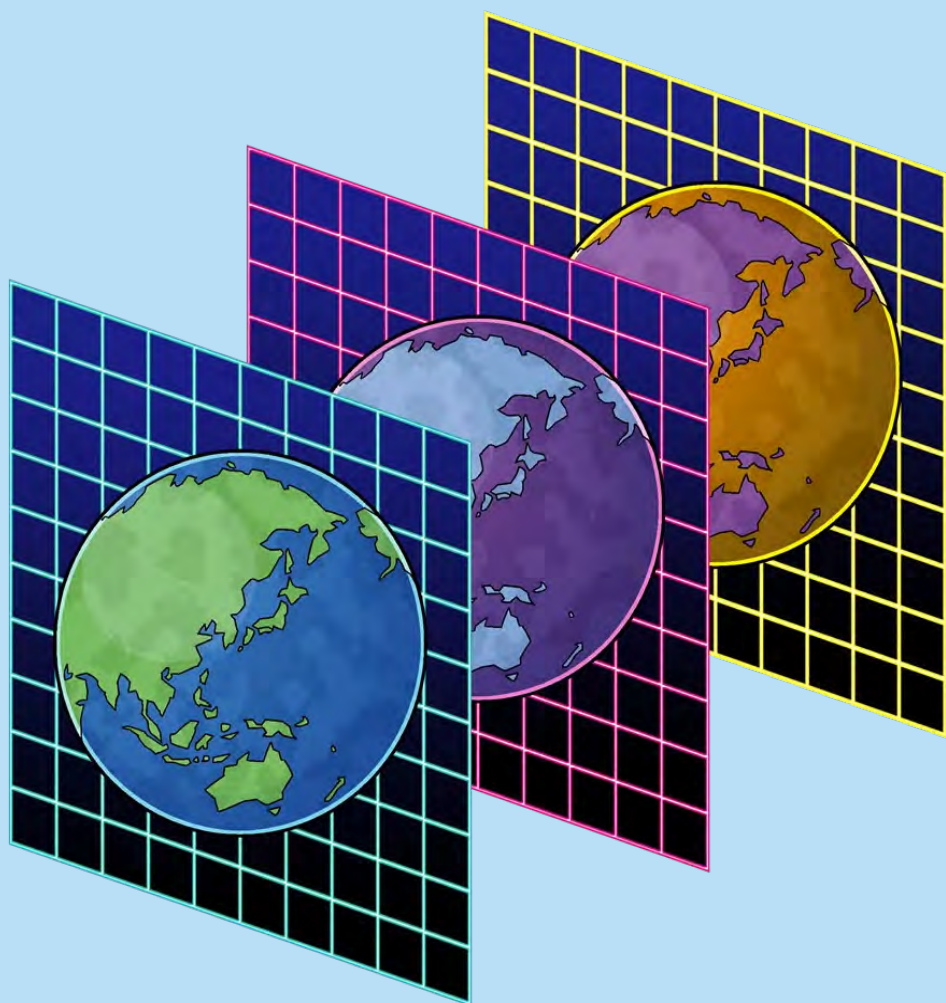


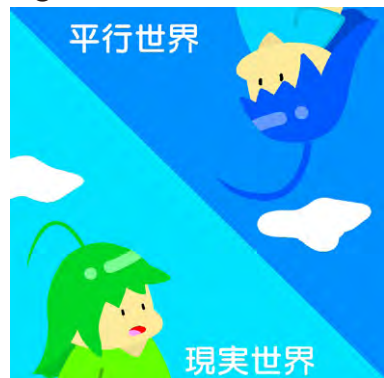
# パラレルワールドについて



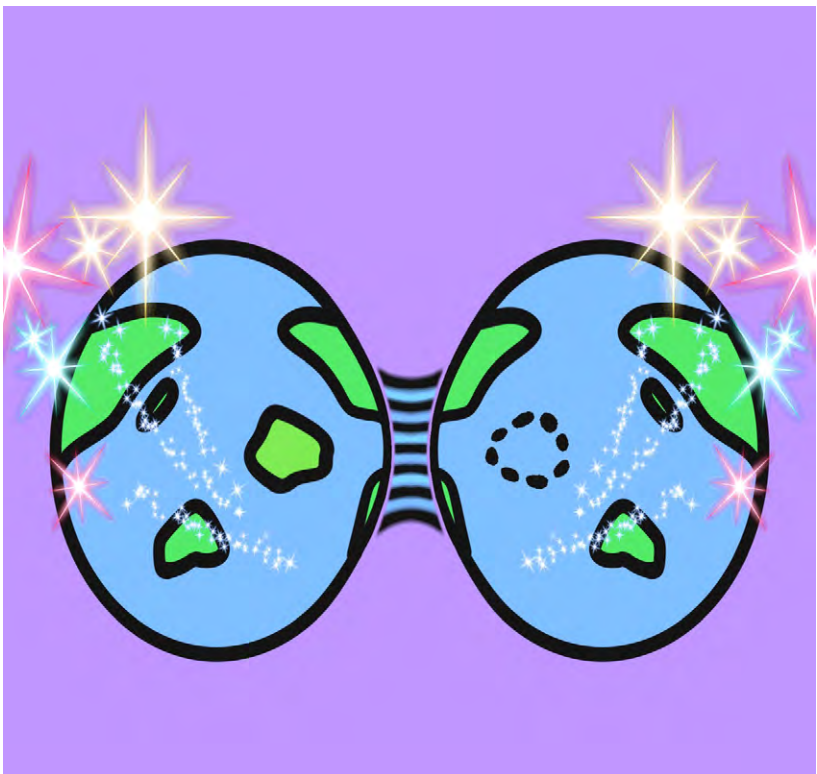
著作：五十嵐心人

# 目次

- ・パラレルワールドとは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4  
5
- ・パラレルワールドの仕組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
- ・もしもこんな世界があったら？・・・・・・・・・・・・・・・・7
- ・パラレルワールドは実在するのか・・・・・・・・・・・・8  
9
- ・サブカルチャー作品におけるパラレルワールド・・・・10
- ・パラレルワールドの描かれ方・・・・・・・・・・・・・・・・11
- ・パラレルワールドが登場する作品・・・・・・・・・・・・12
- ・別名・表記揺れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
- ・まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
- ・あとがき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15



# パラレルワールドとは



パラレルワールドとは  
私たちの住む世界に似た空間が無数に存在しているという概念です。

## 概要

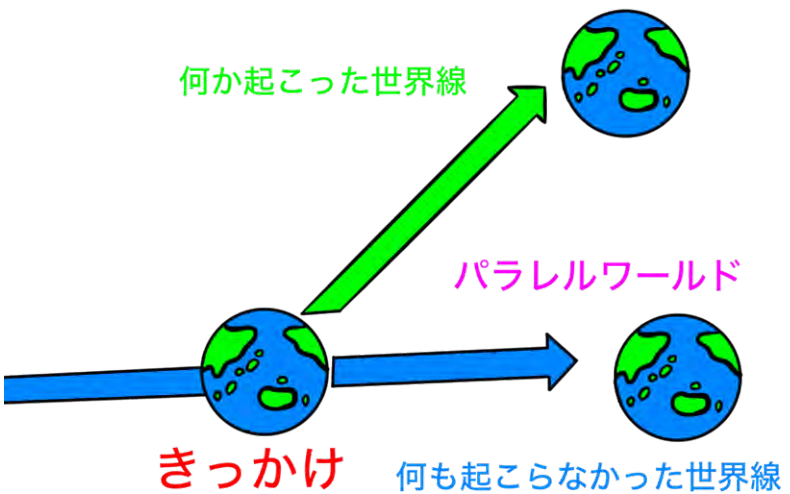
ある世界（時空）から分岐し、それに並行して存在する別の世界（時空）を指す。並行世界、並行宇宙、並行時空とも言われています。そして、「異世界（異界）」、「魔界」、「四次元世界」などとは違い、**パラレルワールドは我々の宇宙と同一の次元を持つ**。SFの世界の中だけに存在するのではなく、理論物理学の世界でもその存在の可能性について語られています。

## 解説

例えばこの世界にて、花瓶が落ちて割れたとする。そうなったらそれは当然、この世界の住人にとって『ただ花瓶が落ちて割れただけ』に過ぎないが、この時同時に『花瓶が落ちなかった、または割れなかった未来もあったかも知れない』という想像をすることもまた可能であります。

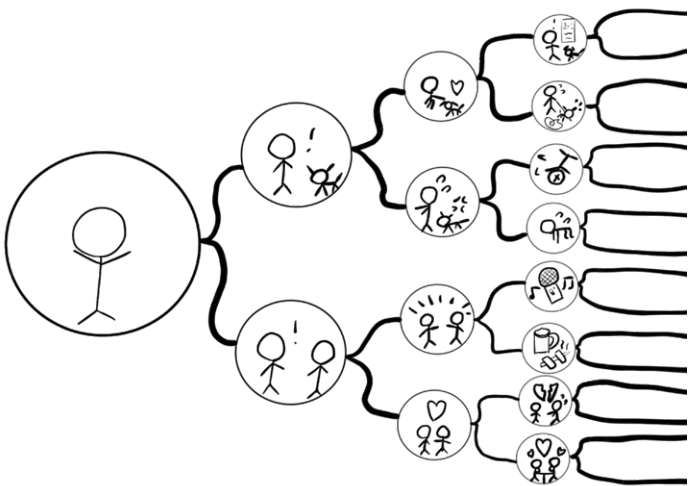
この『花瓶が落ちなかった、または割れなかった』という架空の未来が、分岐して、この世界とは違う固有の世界として存在している、という考え方がパラレルワールドなのである。

前述の例の場合、この世界にて『花瓶が落ちた』場合、この世界という存在そのものから『花瓶が落ちなかった世界』『花瓶は落ちたが割れなかった世界』が分岐して出現し、それぞれの世界同士、互いに干渉し合わない形（すなわち『平行』）で別々の時間を続行していく、ということになる。



この考えに倣うならば、『今日遅刻しなかった世界』『パソコンが壊れなかった世界』『アストロで高得点をとった世界』など、**人間ら生物が何らかの分岐点（きっかけ）にさしかかるたび、パラレルワールドは常に出現、進行していると考えられる。**

# パラレルワールドの仕組み



私達の心が変化する。また、選択肢が現れる度に世界線が存在する。これを「**多世界解釈**」と言って「一つの事象から世界分岐して、その結果多数のパラレルワールドが存在する」というものであります。

例としては、ゼルダの伝説の時系列では、時のオカリナで三つの世界が分岐しています。他にも映画やアニメなどいろんなもので多用されていて、一般的に馴染み深い要素です。

つまり私達が今いる世界は、様々な事象がきっかけで枝分かれして生まれた多数の世界の一つであり、「私達が存在する。世界は、数ある分岐の一つで、かつ宇宙の中で一つかもしれない？」

# もしもこんな世界があったら？

この記事では、もしもこんな世界だったらを個人的に考えました。

- ・新型コロナがなかった世界
- ・ファッションビジネス学科を選んだ世界
- ・建築設計デザイン学科を選んだ世界
- ・今年の夏秋に内定を貰った世界
- ・お金持ちな世界
- ・超能力が使える世界
- ・ゾンビな世界
- ・ポケモンがいる世界
- ・異世界みたいな世界
- ・性別が逆転している世界
- ・近未来的な世界

など

皆さんならどのようなパラレルワールドを想像しますか？

# パラレルワールドは

## 実在するののか？



パラレルワールドは、SFやアニメなどでよく知られた概念であるというだけでなく、実際に物理学の世界では、理論的な可能性が語られている。

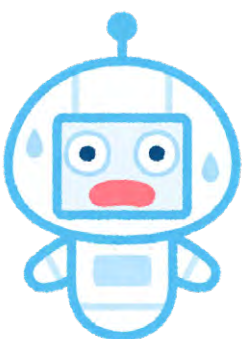
例えば、量子力学の多世界解釈や「ゼロ・ポイント・ワールド」仮説、宇宙論の「ベビーユニバース」仮説などである。

理論的根拠を超弦理論の複数あるヴァージョンの一つ一つに求める考え方も生まれてきている。現在の宇宙は主に正物質、陽子や電子などで構成されているが、反陽子や陽電子などの反物質の存在が微量確認されている。この物質の不均衡は、ビッグバンによって正物質と反物質がほぼ同数出現し、相互に反応してほとんどの物質は消滅したが、正物質と反物質との間に微妙な量のゆらぎがあり、正物質の方がわずかに多かったため、その残りがこの宇宙を構成する物質となり、そのため現在の既知宇宙は



ほぼ全ての天体が正物質で構成されているのだと説明されている。

宇宙は広いのでいくつ地球に似た惑星や生物がいてもおかしくないのです。ある科学者は、こう理論しました。宇宙はもっと広い。無限に広がる空間地球なんて砂の一粒と何ら変わらん。そこでこう考えた、「私達の宇宙の外には、別の宇宙があるのではないか？」(マルチバース)「そしてその宇宙は無数にあり、物理法則や物理定義が異なる宇宙も存在するのではないだろうか」。あくまでも「予言」だがもしこれが本当たとしたら、我々の世界は想像以上ちっぽけな存在なのかもしれない。



# サブカルチャー作品における

## パラレルワールド



ここからは、アニメや漫画、ゲームなどにおけるパラレルワールドを解説します。

これは、「もしも○○だったらどうなっていたのか」という空想を形にする上で都合が良い。

元々は物理学に属する考え方だが、幻想的な響きを持つ要素があることから、漫画・アニメ・ゲーム・ライトノベルなど様々なエンターテインメント作品にこの要素が適用されることもある。

主に本編とは異なる外伝や番外編などにも扱われる事もある。

## パラレルワールドの描かれ方

『パラレルワールド』と言っても、作品によって描き方はさまざまに異なる。これを扱った作品のバリエーションには、主に以下のようなものがある。

・クロスオーバーした作品の原作シリーズでは、クロスオーバー作品で共演した事実は特に言及されず無かったことになることがある。

この場合、クロスオーバーした作品世界は原作とはパラレルワールドとなる。

・作品のシリーズは継続するが、世界観やキャラは、新たにする。つまり、前作との関連性がない。

・タイムトラベルを扱ったフィクションにおいて、タイムパラドックスの解決法としてパラレルワールドが用いられている場合がある。すなわち、タイムトラベルで行

き着いた先は実際にパラレルワールドであり、どの時間軸で歴史を変えようとしても自分がいた元の世界には影響しない。

・ドラマやアニメの映画化も、ある意味パラレルと言える本筋とは違うストーリーが多い。けれども本放送の続編としてつながったり、本放送の途中に映画の設定を差し挟んだりする例もある。

・恋愛ゲームをはじめとするマルチエンディング方式のゲームでは、存在する複数の結末全てがパラレルワールドの関係にあると言える。

# パラレルワールドが登場する作品

パラレルワールドを扱った作品は他にも多数存在するので、ここでは、一部紹介します。

- ・ドラえもん（もしもボックス回）（あべこべ世界）  
（魔界大冒険）
- ・仮面ライダーシリーズ（一部）
- ・ジュエルペットシリーズ（前作との繋がりはない）
- ・ちいかわ（パラレルワールド編）
- ・I・CINNAMOROLL
- ・星のカービィシリーズ（カービィハンターズ）
- ・スーパーマリオギャラクシー2（1とは異なる）

他



## 別名・表記揺れ

### パラレル

主に脚色の意味で使われる。また、パラレルの直訳は『平行』である。

### 平行世界／並行世界

『平行世界』は相似関係にあるが交わらない世界、『並行世界』は同一世界のある時点から分岐した複数の世界、または並び立つ（二つの）世界を指す。どちらかが誤字という訳ではない。

### マルチバース

一つの宇宙を意味するユニバースに対し、マルチ（複数）の宇宙の意味で作られた造語。『多元宇宙』と訳される。

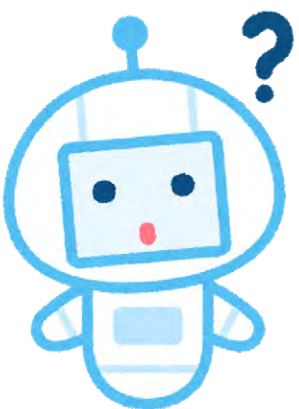
同一宇宙の中の多世界解釈であるパラレルワールドとは根本的には異なるが、同義語だと捉えられる事が多い。  
つまりマルチバースは「全く違う宇宙の集まり」。パラレルワールドは「ほんの少し違うバージョンの同じ宇宙」。

ifの世界／if設定／if展開  
「もしも～～～だったら」  
「もしも～～～ならば」  
「もしも～～～してたら」など  
という仮定で描かれた作品につけられるタグとして扱われている。  
一般的に二次創作作品に使われる事が多い。

コラボ／クロスオーバー  
「お互いにパラレルワールドである」という前提の事が大半。これは単なる二次創作にも言えるが、（どちらかの）原作と異なる展開になった場合は「原作に対するパラレルワールド」と見る事も出来る。

### 恋愛ゲーム

ヒロイン選択型の場合は、必然的に各々のルートがパラレルワールドとなる。



## まとめ

・パラレルワールドは我々の宇宙と非常に似た世界が、少しだけ違う形で存在するという概念



・人間ら生物が何らかの分岐点（きっかけ）にさしかかるたび、パラレルワールドが出現（多世界解釈）

## あとがき

この雑誌を最後まで読んでいただきありがとうございます。この雑誌では、パラレルワールドの事を記載させていただきました。何故このテーマで制作したのかというと、アニメや漫画で「もしも〜だったらあのキャラは救われたのに」とパラレルワールドを想像してシヨックを和らいでいたことは、皆さんあるでしょうか。このようにパラレルワールドは現実であるかは不明だが想像して楽しめる事が出来ます。パラレルワールドの概念があるおかげで二次創作などを見ると本編との違いが楽しめます。通じてパラレルワールドの面白さをもっと伝えられるようにこの雑誌を使って制作しました。苦勞した点は、細かく調べれば調べるほど哲学的になりよくわからなく制作の途中で行き詰る事がよくあったことです。けれどもイラストの配置、重要なことは、赤で記入して世界で一番分かりやすい雑誌として制作しました。

パラレルワールド、信じるか信じないかあなた次第です。





# end

発行日：1月6日

印刷：文化デザイナー学院

編集／イラスト：五十嵐心人

いらすとや

以下略

